

今

この人へ

Interview

サヤームギャラリー運営
塚本 サルチャーさん



「タイの人は楽しむこと上手だ」と言いますね。将来はことは逆タイに日本ギャラリーを開きたいですね。

自分の心が幸せだと感じたら何処で暮らしても同じだと思っています。

■サルチャーさんが日本に興味を持たれたきっかけは何ですか？

小さい頃にタイでもテレビで日本アニメが放送されていて、自然に日本に興味を持ち始めていました。意識したのは小学6年生の時で、そのアニメソングを日本語で歌いたいと思ったんです。日本から来られる観光客の方のガイドを目標に、大学では観光を専門に勉強していました。在学中に交換留学生として来日し、1年の留学期間を経てタイに戻り、卒業と同時に日本で知り合った夫と結婚しました。タイの大学では卒業証書は一年後に皇太子さまから直々に渡されるため、一年間はタイの大学で日本語講師として勤め、子どもが生まれてからも、母国の高校の先生やタイにある日本の会社に勤め、夫とは別居生活でした。

■日本に落ち着いたのは、なぜですか？

子ども達が「お父さんと暮らしたい！」と言ったからです。子どもを連れてタイに戻っていましたが、夫と接する時間が少なく寂しかったんだと思います。夫は、実家周辺にタイ人のコミュニティの場がなく、生活環境も違う日本での子育てはしんどいだろうと、私のことを思い別居生活を提案してくれました。本音はタイと日本を行ったり来たりできるからなんですよ(笑)。現在小学2年生の上の子どもが4歳の時に、タイの仕事を辞めて日本に来ました。

■日本での暮らしはどうでしたか？

親戚を含めた大家族で暮らすタイ



タイ国旗やタイの調度品で飾った「サヤームギャラリー」の内部。

とは違います。タイの子育てはみんな子どもを見てくれます。というのもタイの田舎では働き手の両親は別居して都会で働くため、子どもを親や親戚に預けるとするのが普通なんです。だから、子どもを産んで日本に戻って来た時は戸惑いがありました。日本語も十分ではありませんでしたし、相談相手もいませんでしたからね。そんな私の気持ちを察し、私が元気に日本で暮らせるようにと、夫が仕事場の倉庫にコミュニティの場所を作ってくれたのが「サヤームギャラリー」オープンのきっかけとなります。

■タイ料理教室などもされているんですか。

初めは椅子が数脚おいてあるような場所でしたが、徐々にタイ様式の建物に変化していきました。タイの国旗や調度品を飾ったタイ文化に直に触れられるスペースにし、本格的なキッチンスペースも確保して、タイ料理の教室やランチスペースとして、皆さんの要望に応えられるようにしています。また、果物や野菜を小さなナイフ一本で繊細な草花に彫り上げるタイの700年以上の歴史を持つタイの伝統芸「カービング」にも取り組んでいます。昨年はタイの僧侶を招いて「タムブン」と呼ばれる徳積みの儀式も披露しました。タイ文化を広めることで、このギャラリーが日本人とタイ人との交流の場になればと思っています。

■ところで、パートナーである晃弘さんと知り合ったきっかけは？

夫とは日本での留学中に共通の先生の紹介で知り合いました。夫は大学で東洋史を勉強し、学生時代にタイへゼミ旅行をしたのがきっかけで、タイに魅せられ、タイが大好きな人でした。夫曰く、育った環境からもまじめできちりとした性格で、待ち合わせの時間にも15分前には行くよ

●プロフィール

1975年タイ生まれ。タイの大学に在学中に交換留学生として滋賀大学教育学部に留学。在学中、共通の友人を通して知り合った夫の晃弘さんと結婚。母国で日本語講師として勤めていたため、1年間の別居生活を経て、2001年に来日。その後も2人の子どもの出産などで、タイと日本を行き来する生活が続くが、2008年4月に、八日市商工会議所と市(旧八日市市)のまちかど博物館事業の認定を受け、タイ文化に触れるための「サヤームギャラリー」を開設。在住するタイ人のコミュニティの拠り所として、悩み相談や生きがいづくりの場所になっている。

うな性格だったそうですが、タイに来て一転、「マイペンライ(気にしない、大丈夫、これでいいんだ)」と気持ちが楽になったと言います。

■今後の展望をお聞かせ下さい。

タイが大好きな夫はタイで暮らすことを夢見ています。私は日本が大好きです。自分の心が幸せだと感じたら何処で暮らしても同じだと思っています。日本に来たことで、今まで当たり前だと思っていた母国、タイの文化のいいところが見えて来ました。日本とタイのそれぞれの良い文化を双方の国の人に伝えていきたいですね。相手を思いやる気持ちは逆の立場になれば分かります。相手の文化を理解すれば、違う国の人同士でもいい関係で交流できるんだと思いますね。

開館時間：水曜日 & 土曜日(事前予約が望ましい)

AM10:00 ~ PM17:00

※タイ料理を食べながらミーティング、パーティーなどの利用もできる(4名~15名)。

TEL&FAX : 0748-20-5900

URL : <http://www.siamgallery.net/>